

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【3 月度の御金言】天台云「從藍而青」云云。此の釈の心はあい葉のときよりも、なをそむればいよいよあをし。法華経はあいのごとし。修行のふかきはいよいよあをきがごとし。
【上野殿後家尼御返事】（全集 1505 頁）

法華講信条

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。（信心）
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。（行学）
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇気を持とう。（破邪顕正）
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。（示教利喜）
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991 年 2 月 13 日掲揚

☆ 私は常々皆さん方に、朝夕の勤行の時の唱題は、出来るだけ 15 分は唱えて下さいよと、申し上げて来ました。何故かという、二つの理由があって、
① 勤行の中心は御題目で、御経は御題目の助けとしての説明ですが、どうも一般的には勤行の中心が御経の様に思われ、唱題が御経の付け足しの付録の様に考えられ、三分、五分程度の御題目でそそくさと終わってしまう人が沢山います。この意識を変えて貰いたいで勤行の中心は御題目であるという意識を持って頂く為に、せめて 15 分は唱えて頂きたいと願っています。

② 勤行の中心は御題目ですから、本来は御経に 30 分かかかるなら、御題目は 30 分以上唱えるというのが当然の事であります。ですから、私自身、御信者さんにすすめるだけでなく、毎日、朝 15 分、夕 60 分の唱題を 40 年以上続けて来ました。会社に勤めている御信者さんは、したくてもむつかしいと思いますが、三分、五分では、やれば良いんでしょというような、やっつけ仕事の様な唱題になってしまい、唱えている最中に、煩惱が次々と湧いて来る様な状況になる前に終わってしまいます。15 分となれば、やっつけ仕事という訳にはいかないからであります。

15 分真剣に唱える事が一番の理想ではありますが、私が思うのは、

「長いな～」

「まだ 15 分にならないかな～（時計を何度も見てイライラする）」

「もうやめようかな」

という凡夫の、ずるさ、弱さ、みにくさ等々の自分の煩惱と向き合いながら、その事を自覚し、煩惱のドロドロした海を泳ぎ回る様に御題目を唱えながら、こんな自分にも仏の生

命（南無妙法蓮華經）が具わっているのだろうかという事を感じて貰いたいのであります。

創価学会員の中には、良く、「御本尊様に、こうして下さいと一途に御祈念しながら御題目を唱えると、真剣に集中出来て、煩惱なんか湧いて来ないよ。願い事が無ければ御題目なんか唱えられないよ。」と、いう人がいました。そう考える事自体が煩惱だという事が分からないで、それが信心だと思い込む様に長年洗脳指導されて、創価学会は日蓮大聖人の教えとは、現世利益こそが信仰であるという完璧に間違った考えにならされてしまったのであります。こうして下さい。ああして下さい。と御本尊様に指示、要求する事は信心ではありません。

【一切法華經に其の身を任せる】事が御題目を唱えるという事であり、信心なのであります。現世利益追及の情熱で唱える題目は、自分が幸せになる為の手段として自己利益中心で唱えているだけのもので言葉は御題目でも、本当の御題目ではありません。

皆さん方の中で、15分の唱題をしようと決めて、唱え始め、15分を30秒40秒と過ぎた事に気付いた時に、損をしたと考えるでしょうか？時の経つのを忘れて唱える事が出来て良かったと考えるでしょうか？

常々何度も申し上げている様に、御題目は、全ての生命に具わる南無妙法蓮華經の仏の生命をかすかでも目覚め感じ、自覚する為に唱えるのであります。損したとを感じる人は、まだまだです。真心を込めて一回でも多く唱える事が出来たと思える迄、唱え続けて下さい。唱題を終える時も、やれやれ15分経ったではなく、今私はどれだけ真剣に唱えただろうか、御本尊様に散漫な迷いの心だけで御題目を唱えていたのではないだろうか、最後にもう一回、もう一回、心の底から一切衆生平等成仏の為の御題目を唱えようと志し御題目を唱え終える。そうしてください。

どんなに苦しい事、悲しい事、辛い事、病気、事故等々があっても、唱え続ける。そうすれば必ず、どんな絶望からも立ち上がる永遠常住の変毒為薬の力が湧いてきます。苦楽共に思い合わせて南無妙法蓮華經なのであります。現世利益を目的にした御題目には、信心しているのに、こうなったという愚痴しか出て来ません。